

健全育成少年サポートチーム「井川さくら」(秋田県)

「おや一、おやおやお父さん、そのど派手な色のなんだ。このシャッポとチョッキ。なんと、俺、恥ずかしくて町の中、歩けねえでや。」「いやいや、おかあさんや、あんたが着てるんでねえ。俺が着て歩くんだろ。これがね、派手なほど効果が上がる。この活動には、この色が最高の色なんだ。」私が一番先にこれを着て、うちの家内に見せたところ、そのような言葉でございました。



皆さん、こんにちは。私は、秋田県井川町、健全育成少年サポートチーム「井川さくら」の代表の北嶋です。同じく「井川さくら」の三浦です。よろしくお願いいたします。

活動地域の紹介

私たちが活動している井川町について、簡単に説明します。私たちが暮らしている井川町は、県庁所在地である秋田市の北部に位置し、出羽山稜から八郎潟に注ぐ井川という川に沿って開けた町です。人口は約 5,500 人、広さは約 48 平方キロメートルの小さな町で、東部は段丘、西部は平坦な水田地帯となっている農業が主体の町です。

町内には、日本国花苑という公園があります。日本各地から集められた学術的にも貴重な桜が 200 種、2,000 本植樹されているほか、バラやツツジなども植えられており、四季を通じていろいろな花が楽しめます。この国花苑から、私たちのチーム名を「井川さくら」と命名いたしました。

団体の発足経緯

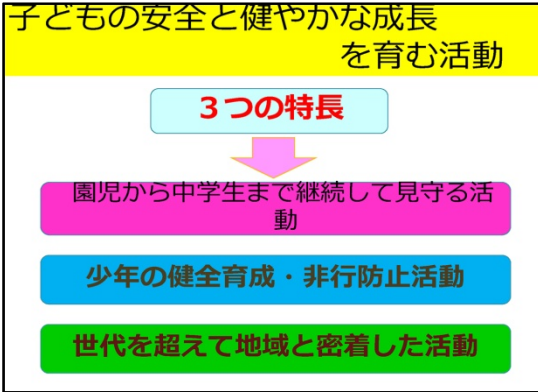
団体を結成されたのは、平成 16 年 6 月です。警察から非行少年の立ち直り支援活動を一緒にやらないかと誘われ、最初は有志 6 名でチームを立ち上げました。ところがその矢先に、町内で下校途中の女子児童が知らない男に抱きつかれるという事件が発生しました。これまで大きな事件の起きたことのない町で、この事件が子どもたちや保護者に与えた影響は大きいものであります。そこで、私たちはこの不安を少しでも和らげることができたらと思い、登下校時のパトロール活動や



児童館での見守り活動を始めることにしたのです。幸いにも、この犯人は約 1 カ月後に逮捕されましたが、この事件を契機に、私たちが住む町について考えてみました。私たちの町は田舎の小さな町とはいえ、県庁所在地の秋田市への通勤、通学圏内であることから、昼は高齢者と子どもしかいない。また、見知らぬ人が町を歩いていても気にしない人が多いことに気付いたのでした。人口が少ない上に住民がお互い無関心であったら、また同じような事件が発生しかねないと思いました。そして、少しでもその予

防ができればと考え、私たちは子どもたちの見守り活動を継続することにしたのです。

3つの特長



活動の中心となる考えは、「私たちの町を私たちの力で守りたい。」ということです。その柱として、地域の子どもを見守りながら、子どもの安全と健やかな成長を育む活動を推進していこうと思ったのです。そのために、「園児から中学生まで継続して見守る活動」、「主として中学生を対象とした健全育成、非行防止活動」、それから、「子どもの安全を守るための世代を超えたコミュニケーション活動」の3点を推進しています。

1点目は、園児から中学生まで子どもたちの成長を見ながら、継続して見守り活動を行っているということです。町には、保育園児、幼稚園児が通う子どもセンターが1カ所しかなく、また、小学校、中学校も1校ずつしかありません。ですから、私たちは幼稚園、保育園児から中学生までの約10年間、同じ子どもたちと触れ合うことができます。私たちは、この利点を生かして、各年代の子どもたちの安全と健やかな成長を育む活動を行っております。

初めは、子どもセンターの園児との触れ合いから始まります。子どもセンターでは、出掛けるときの注意や、知らない人に声を掛けられたときの対応などについて防犯教室を行っています。防犯教室では、園児も参加した寸劇などを披露しているのですが、最初は恥ずかしいと思っていたのですが、やってみるとなかなかこれがまた面白い。今ではやみつきになりました。見ている園児も一緒になって「助けてー」と大声で叫ぶなど、チーム全員が迫真の演技を披露しております。また、園児たちに大きな声で挨拶することや、友達と仲良くすることなどについても話をしています。

次は、一番付き合いの長くなる小学生です。小学校では毎年4月に新入学児童への防犯教室を行っています。ここでは、新入学児童に私たちのユニフォーム姿や活動を紹介するとともに、5つの約束が書かれた防犯下敷きを贈呈しています。防犯下敷きは、毎年、新入学児童全員に送っているもので、防犯下敷きを配りながら5つの約束を説明したり、一緒に「助けてー」と大きな声で叫ぶ練習などを行っています。この防犯下敷きを6年生になるまで使ってくれている子どももいて、私たちは大変うれしく思っているところです。

このほかにも全校生徒を対象とした防犯教室や非行防止教室に参加したり、毎朝の通学路で大きな声で挨拶をしながら見守り活動を行っています。朝は、危険箇所5カ所での交通指導を兼ねた見守りとパトロール活動から始まります。中学生になると、少し大人になって恥ずかしがる子どもも出てきますが、学校や駅での挨拶運動や自転車盗難防止のためのロックパトロールなどで触れ合っています。

こうして、小さな町の利点を生かして、園児から中学生まで子どもたちの見守り活動を行っています。幼くてかわいい園児が小学生



になり、そして中学生へと成長しながら元気に学校に通っていく姿を見ると、本当にこの活動をしてよかったなと心から思う次第です。



少年の健全育成を図るための活動

- 万引き・飲酒等非行防止
キャンペーン
- 自転車置き場の整理
- 盆踊り会場の巡回
- 少年健全育成座禅会

2点目は、主に中学生を対象とした少年の健全育成、非行防止のための活動です。町には、大きな商業施設がありますが、この施設では万引きが多発しており、地元の警察では大変苦勞しているとのことでした。

そこで、私たちは警察と連携して、この店で少しでも万引きなどの犯罪が少なくなればと思って、昨年は5回にわたって万引き防止キャンペーンを行いました。8月のキャンペーンでは、夏休み中であったことから、チーム員の子どもたちも参加して一緒に利用客にティッシュ

などを配りましたが、受け取った方から「暑いのに頑張っているね。ご苦勞さん。」などと声を掛けてもらい、私たちも子どもたちもとてもうれしい気持ちでキャンペーンを行うことができました。これからも、子どもたちにも参加してもらえるような活動をもっともってできたらいいなと思っております。

このほかにも、学校の教職員や警察と連携して、駅の自転車置き場の整備や未成年者飲酒、喫煙防止など、男鹿のなまはげも参加してキャンペーンを行っているほか、月4回の夜間パトロール、夏場には盆踊り会場の巡回や少年健全育成座禅会などを行うことにより、「大人たちは君たちを見ているよ。」ということを知ってもらえる活動に努めております。



3点目は、子どもの安全を守るための地域の人たちとのコミュニケーション活動です。私たちの活動は、子どもの安全と健全育成を図ることが目的ですが、そのためには、地域住民や行政の協力が不可欠です。そのため、私たちは地域のクリスマス会、PTA 協議会、町主催のウォーキング大会、雪祭りなどの行事に積極的に参加して、子どもたちや保護者と接する機会や時間を増やし親交を図っています。

また、地元警察署や教育委員会などとの情報交換会の開催、全国地域安全運動期間中における地域安全キャラバン、年末年始警戒期間におけるパトロールなど、関係機関と連携した活動を行っています。当町は平成 14 年5月、五城目警察署協議会の答申を受けた五城目警察署長から生活安全条例制定の打診を受けると、迅速な対応により条例制定、施行に至るなど、地域安全に対する関心が高く、防犯に対しての配慮のある町だと思っています。

平成 19 年5月には、「子どもを守る活動に団体の境はない。」との考えから、町の協力を得て、防犯協会、防犯指導隊、交通安全協会などが一体となった、「井川町安全安心パトロール隊」を立ち上げ、青色回転灯装備車による下校時のパトロール、夜間のパトロール、通学路の危険箇所の点検などを行っています。

私たちの活動は徐々にではありますが、地域住民の方々にも理解していただけてきており、活動中に地域の皆さんから声を掛けていただくことがよくあります。特に、子どもたちとは毎日の見守り活動を通じて顔なじみになり、挨拶を元気にできる井川っ子が増えております。

転任してきた先生方からは、井川小学校の児童は挨拶が素晴らしいと、最初に言われます。また、チーム員が病気で見守り活動を欠席すると、病気が早く治るようにと子どもたちから手紙が届いたり、チームに家族が入っていると自慢する子どもがいたりして、私たちチーム員の励みになって、逆に私たちが元気をもらって活動しています。

このような活動は、子どもたち、保護者、地域住民が世代を超えてコミュニケーションを図る機会の手助けとなっていると思っています。

活動の効果

私たちの活動も8年目を迎えました。私たちの町は、子どもを見守る活動に恵まれた環境にあると思っています。活動の効果として、挨拶を元気にできる井川っ子が増えた、そして学校や子どもたち、その保護者や地域住民が世代を超えてコミュニケーションを取る機会を増やすことができました。

また、地道な活動で「井川さくら」という団体が地域の安全のため活動しているということを知っていただき、今では 20 代の子育て中の主婦から 81 歳になる人生の大先輩まで、約 20 人の方が誇りを持って日々研鑽を積んでおります。私たちはこれからも地域の子どもたちを見守り育む活動を続けていきま



地域会合への参加

全国地域安全運動

活動の原点

- ・ 子ども達の笑顔。
- ・ 子ども達からの労いの言葉。
- ・ チーム員は「私達の町を私達の手で守りたい」という信念。
- ・ 無理をせず、息の長い活動を。

す。私たちが活動を続け、大人が子どもたちを見守っているという気持ちを伝え続けることで、将来大人になった今の子どもたちが、私たちと一緒に次世代の子どもたちのために活動する 때가来ると信じております。これからも住民を巻き込んだ息の長い活動を続け、地域で子どもを守る環境を整えていきたいと思っております。

活動の効果

- ・子ども達や保護者、地域住民が世代を超えて、コミュニケーションを取る機会を増やすことができた。
- ・チーム員それぞれが誇りを持って活動に臨むことができるようになった。
更に、日々研鑽を積んでいる。
- ・あいさつを元気にできる「井川っ子」が増えた。

将来、大人になる子ども達へ

将来大人になった今の子ども達がいつか私達と一緒に活動する 때가きてくれれば・・・と願っている。

サポートチームの活動も次世代に引き継がれていくよう、しっかりと基盤を築いていきたい。

質疑応答

●質問 井川のお子さんたちを優しく見守って、成長を楽しみにしておられるなという印象を受けましたが、以前にPTA 活動などをされた上での、今回の活動展開ということですか。

○回答 はい。PTA 活動のほか、少年保護育成委員、少年警察協助手員、民生児童委員など、さまざまな活動を経て井川さくらの活動を始めました。

●質問 皆様の活動に対する、小学校区、中学校区を含めた保護者の方々からの反響はいかがですか。

○回答 「いつもご苦労様です。」「ありがとうございます。」など感謝の声をいただいています。また、登下校中に子どもから悩み事を打ち明けられたり、いつもと様子がおかしいと感じる子がいると、私どもは学校に情報提供をします。そして、その問題が解決すると、学校を通じて親御さんからお礼の言葉をいただきます。そうして顔見知りになった保護者や子どもは、別の場所で出会った場合、優しく、親しく言葉をかけてくださるので、私たちの励みになっています。